

**第 17 回 日本社会福祉学会フォーラム**  
**地域における子育て支援～新型コロナウイルスとの共存の時代を迎えて～**  
**開催要項**

**1. 趣旨**

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）によるパンデミックとそれへの対応は、世界において様々な困難と混乱をもたらした。新型コロナウイルスとの共存（with コロナ）への対応が求められる中、経済、雇用状況の悪化による生活困難、在宅時間の増加による家族関係のトラブル、社会に蔓延する閉塞感、「ニューノーマル」への不適応、感染に対する恐怖心からの感染者に対する差別など、家庭、地域における関係性や暮らしに大きな影響をもたらしている。

このような未曾有の体験は、日本における社会福祉の課題を改めて浮き彫りにすることとなった。とりわけ、3月初旬から緊急事態宣言下の期間における一斉休校が子ども・子育て家庭の生活にもたらした影響は甚大であった。義務教育段階の子どもたちの主たる生活の場である学校が機能を停止させるなかで、保育所・放課後等デイサービスなどの児童福祉施設が、感染リスクを抱えながらも、エッセンシャルワークに従事する保護者のかわりに子どもたちの心身のケアと成長・発達権の保障を一手に引き受けざるを得ない状況で場を開き続けることを求められた。他方では、テレワークの勤務形態あるいは家事専門の保護者にとっては養育負担が増大し、学校以外の社会的機関とのつながりを持たない子育て世帯の孤立、課題の潜在化が懸念される状況がうまれた。そして、一斉休校が解除された後も、児童虐待やドメスティックバイオレンス（DV）の増加傾向が指摘されている。

従前より、多様化する子育てニーズへの対応や子どもの貧困、児童虐待などの社会問題に対して、社会福祉の立場から多方面からのとりくみが進められてきた。しかし、コロナ禍が社会的に脆弱な層により深刻な影響を与えているなかで、エッセンシャル・ワーカーに含まれる保育士や子育て支援に従事する専門職としての地域における保育・子育て支援のあり方が、あらためて問われはじめている。

シンポジウムでは、保育、子育て支援に関わる民間、行政の実践者と研究者に、それぞれの立場やコロナ渦における経験を踏まえて、子ども・家庭・地域の暮らしや保育・子育て支援に関わる福祉サービス提供に生じた困難及び、浮き彫りになった保育・子育て支援の課題、それら諸困難や問題の克服に向けての努力や工夫、今後に向けての可能性などについてお話いただき、議論を深めます。

**2. 主催**

一般社団法人日本社会福祉学会・関西地域ブロック

**3. 後援（予定）**

日本学術会議、大阪府社会福祉協議会、大阪市社会福祉協議会、  
大阪社会福祉士会、大阪精神保健福祉士協会、兵庫県施設保育士養成協議会、  
堺市社会福祉協議会（順不同）、

#### 4. 日時

2021年2月28日(日) 13:30~17:00

#### 5. 開催方法

オンライン

#### 6. 対象

一般社団法人日本社会福祉学会会員及び会員以外の方でテーマに関心のある方

#### 7. 参加費

無料

#### 8. プログラム

※敬称略

13:30~13:40 開会挨拶 木原活信(学会会長 同志社大学教授)

13:40~16:50 シンポジウム

「地域における子育て支援~コロナとの共存の時代を迎えて~」

シンポジスト

渡邊充佳(NPO 法人地域生活サポートネットほうぶ 児童発達支援  
管理責任者)

障がい児の放課後支援・家族支援の現場から

八木安理子(枚方市子どもの育ち見守りセンターセンター長)

市町村の子ども家庭福祉の立場から

谷村誠(社会福祉法人みかり会理事長、兵庫県社会福祉法人経営者  
協議会会長)

保育実践の現場、保育所運営の立場から

小口将典(関西福祉科学大学准教授)

保育ソーシャルワークの観点から

コメンテーター 伊藤篤(甲南女子大学教授)

コーディネーター 橋本好市(神戸常盤大学教授)

※途中20分の休憩を入れる予定 15:10 から~15:30 進行状況によりかわることがあります。

16:50 閉会挨拶 倉田康路(学会担当理事・西南学院大学教授)

17:00 終了

#### 9. 申し込み方法

web にて事前参加申込を受け付けます。

詳細は、学会 HP をご確認ください。

#### 10. 参加申し込み・お問い合わせ先

一般社団法人日本社会福祉学会大会ヘルプデスク(フォーラム)

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5

アカデミーセンター((株)国際文献社内)

TEL 03-6824-9385 FAX 03-5227-8632

E-mail jssw-forum@bunken.co.jp